

## 大白川ドロノキ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・飛騨森林管理署
所在地	岐阜県大野郡白川村
面積	6.58ha
設定年	平成4年10月設定・平成30年4月変更
保護林の概要 (設定目的)	大白川国有林の一部に群生しているドロノキは、全国分布の最西端にあたりとされ、かつ、高木となっていることから、これを保存し、主要林業樹種としての林木遺伝資源とする。



### モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
調査項目	森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査)、その他の調査等(資料調査・聞き取り調査)
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。
結果概要	確認できた影響「ウ:外来種、カ:その他(倒木等)」 概ね良好に保護・管理されている。 ただし、外来種の侵入情報があり、県道沿いの保護林であることから、外来種に対する留意が必要と考えられる。 また、わずかであるが大径木の倒木が確認されている。 よって、引き続きモニタリングを継続することが適当である。